

8-4 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測

Continuous Observations of Crustal Deformations in and around Intraplate Seismic Gaps

気象庁 気象研究所
Meteorological Research Institute, JMA

気象研究所では、いわゆる「内陸部の地震空白域」の調査研究のため、近畿地方の今津（滋賀県高島市、 $35^{\circ} 25' 18''$ N, $136^{\circ} 00' 52''$ E）および敦賀（福井県敦賀市 $35^{\circ} 37' 04''$ N, $136^{\circ} 04' 12''$ E）に石井式三成分歪計、傾斜計からなる地殻変動観測施設を設置し（第1図）、1996年5月より連続観測を行っている。

第2, 3図に今津・敦賀観測点の2003年11月1日～2006年10月31日の3年間、および2006年5月1日～2006年10月31日の6ヶ月間の観測データ（時間値）をそれぞれ示す。

参 考 文 献

- 1) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動観測, 連絡会報, 57 (1997), 554-558.
- 2) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動観測, 連絡会報, 61 (1999), 428-432.
- 3) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 64 (2000), 351-354.
- 4) 気象研究所, 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測, 連絡会報, 69 (2003), 445-447.

